

利根川水系における渇水の状況について

本日のポイント

○渇水の概況

- ・ 6 月 1 3 日未明以降、ほぼ毎日の降雨によって利根川上流 8 ダムの貯水率は 6 月 1 4 日から横ばいを維持しており、7 月 1 5 日 0 時現在で 4 9 % となっている。
- ・ 5 月 2 6 日以来、貯水量は現在の 8 ダム体制となった平成 4 年以降の過去 2 5 年間で最少のまま(平年の 5 6 %)。

○関東地方整備局の対応

- ・ 6 月 1 6 日から利根川、江戸川、鬼怒川、神流川において 1 0 % 取水制限中。
- ・ 6 月 2 5 日から渡良瀬川において 2 0 % 取水制限中。

○今後の見通し

- ・ 関東甲信地方では向こう 1 ヶ月の間、平年に比べ晴れの日が少ないものの、少雨の状態が続くところがある見込み。降水量は平年並の模様。(7 月 1 4 日 気象庁発表)

1. 渇水の概況

○今年、利根川水系において累加降雪量が平年の 5 割程度(藤原ダム地点)と記録的に少なく、雪解けが平年に比べ約 1 ヶ月早く終わった。

○少雪に加えて、5 月の降雨量が例年の 4 8 % 程度(総雨量 5 6 mm)と少なかったことから、下流の取水量確保のためのダムからの補給に伴い、ダム貯水量が低下。

○利根川上流 8 ダムでは 6 月 1 4 日以降、平年の半分程度ではあるもののほぼ毎日の降雨があったことから、貯水率は横ばいを維持し、7 月 1 5 日 0 時時点では 4 9 %^{*} となっているものの、貯水量は平年同時期の 5 6 % で、現在の 8 ダム体制となった平成 4 年以降の過去 2 5 年間で最少のまま。

※毎年 7 月 1 日にダム貯水容量の目的別の割当てを変更し、利水容量を減じさせることで洪水容量を確保する。見掛けの容量が小さくなることと同じであることから、貯水量が同じでも貯水率は 7 月 1 日を境に不連続に大きくなる。7 月 1 5 日 0 時の貯水率 4 9 % は、6 月末までの計算条件による換算で 3 7 % に相当。

2. 取水制限の状況

○利根川水系渡良瀬川

- 6 月 1 1 日(土) 午前 9 時～ 1 0 % 取水制限
- 6 月 2 5 日(土) 午前 9 時～ 2 0 % 取水制限

○利根川水系利根川、江戸川、鬼怒川、神流川

6月16日（木）午前9時～ 10%取水制限

3. 国土交通省の対応

6月 7日（火）国土交通省 水管理・国土保全局 渇水情報連絡室設置

6月14日（火）国土交通省 渇水対策本部設置

4. 関東地方整備局の対応

4月 8日（金）第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会（春季定例会）

6月 7日（火）第2回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会開催

6月14日（火）利根川水系渇水対策連絡協議会開催

- ・6月16日（木）午前9時より10%の取水制限
- ・今後利根川上流8ダムの貯水量が1億5千万 m^3 を下回った場合、その翌日の午前9時から20%取水制限

○利根川上流8ダムからの補給と下流施設を活用し、利根川水系全体でより効率的な水運用を実施中。

- ・北千葉導水路※により、利根川下流部から江戸川へ導水（7月14日は平均12.8 m^3/s ）。
- ・三郷放水路※により、中川から江戸川へ導水（7月14日は平均8.75 m^3/s ）。
- ・利根川連絡水路※（霞ヶ浦開発施設）により、霞ヶ浦から利根川へ導水。

※上記3水路は、河川の状況に応じ導水を実施

5. 今後の見通し

○関東甲信地方では、向こう1ヶ月（7月16日～8月15日）の間、平年に比べ晴れの日が少ないものの、少雨の状態が続くところがある見込み。降水量は平年並の模様。（7月14日 気象庁発表）

利根川上流8ダム貯水量履歴図

平成28年7月15日0時現在



